

夏休み小池クラブ

夏休み小池クラブ担当 今橋 直子

今年度も、学校支援地域本部の方を中心に地域・保護者の皆様のご協力をいただき、六十三の講座で延べ千二百八十六名の児童が夏休み小池クラブに参加しました。

例年になく暑い日が続き、熱中症対策のため、やむを得ず中止した講座もありましたが、実施した講座では、子供たちの生き生きとした姿が見られました。

砂浜の不思議を調べる活動をした児童は、砂の中に含まれる貝殻などの様々なものを熱心に虫眼鏡で観察し、気付いたことを夢中になって話していました。

マスキングテープで髪飾りを作った児童は、講師の方の説明を聞いて、集中して取り組んでいました。自分の気に入った色の飾りができてうれしそうでした。

大森第六中学校の部活動体験で、技術家庭科部に参加した児童は、中学校の雰囲気緊張しながらも、中学校の生徒の皆さんに優しく教えていただきました。がらフルーツパイを作っていました。

どの講座でも、子供たちは普段の学校生活ではできない貴重な体験をすることができたと思います。また、保護者ボランティアの方には、講座の準備や出席確認など、大変お世話になりました。

地域・保護者の方と触れ合って学ぶことは子供たちの大きな成長につながります。今後とも、ご協力をよろしく願っています。

自由研究作品展について

教務部 伊藤 康朗

今年も子供たちの自由研究作品が各学年のオーブンスペースに並び始めています。作品一つ一つを見てみると、一生懸命調べたり作成したりする子供たちの姿が目に見えられます。

素材や材料を工夫したり、色や形、デザインにこだわったりして工作した作品。学校で学習したことを基にして、家庭でも実践した作品。自分の興味・関心のあることからテーマを決めて、自分の力で調べ、わかったことや考えたことをまとめた作品。夏休み中に行った旅行先の地域の特色や伝統等をまとめた作品。どの作品からも子供たちの工夫と努力が感じられ、一人一人の個性が溢れています。子供たち自身も、作品を作り上げた達成感と充実感を味わうことができたのではないのでしょうか。

また、お互いの作品をじっくりと見合うことができるのも、この作品展の良さです。作品を通して、友達の新しい一面を発見できることもあるでしょう。

九月八日(土)、十日(月)、十一日(火)の三日間は、各学年のオーブンスペースにて自由研究作品を展示しています。ぜひご来校いただき、子供たちの力作をご覧くださいだけだと思います。

【作品展示時間】

○八日 八時三十分～十一時

○十日・十一日 八時四十五分～四時四十五分

ぐんぐんそだて

三年 金子 左和

校庭の学年花壇のヒマワリが、ぐんぐん成長しています。夏休みの間に、背丈は優に二メートルを超え、それぞれきれいな花を咲かせています。まるで、三年生の子供たちのようです。

三年生の一学期には、新たな学習がたくさん始まりました。生活科の学習が理科と社会科に分かれ、より詳しい内容で、地域のこと、植物のこと、昆虫のことなどを学びました。

「学校の周りは、家やマンションが多い住宅地だ。」
「坂道が多く、洗足流れや小池公園の池は、低いところにあるよ。」

「モンシロチョウの卵って、こんなに小さいんだ。」

「子葉と葉では、形が違ってね。」

など、実際に探検や観察を通して、たくさんの方付きをしていただいた子供たちです。

他にも運動会では「みんなで心をひとつにする」とを目標に「フラッグダンス—MA・KA・MA—」に取り組みました。難しいリズムに合わせ、旗の動きを揃えることを頑張りました。本番を終えたあとの達成感に溢れた子供たちの笑顔が印象的でした。友だちと力を合わせ、新たな学びを楽しみながら、日々成長をしてきた三年生です。二学期も、日々の学習に加え、社会科見学、遠足、学習発表会などの行事もあり、きつと色々な姿を見せてくれることと思います。それぞれどんな成長を見せてくれるのか、楽しみにしています。

